

2023年11月9日
建設労務安全研究会

全国労研交流会議の挨拶

おはようございます。

昨夜は4年ぶりに懇親会が開催でき、180名以上の出席をいただき、誠にありがとうございました。

懇親会の開会あいさつにもお話しましたが、東京労研は、今年で77周年を迎え、80周年、90周年と、建設業界の発展に寄与することを目的に活動に取り組んでまいります。

さて、近年、地震やゲリラ豪雨といった自然災害が毎年のように発生し、多くの被害をもたらしており、被災した地域の迅速な復旧・復興工事、インフラ整備、メンテナンス等、社会環境が変化してきていますが、働く方々の安全と健康を確保するために労働災害防止対策を推進し、労働災害の減少を図ることを第一に不断の努力を続けることには変化はありません。

また、建設業界ではかねてより長時間労働や休日が少ないことなどが指摘され、その影響で若い人材を確保しづらくなってきていました。2024年4月に迫った、建設業の時間外労働の罰則つき上限規制の適用、クリアすることは難題ですが、そうした取り組みは、取りも直さず建設業が抱

えるほかの課題、すなわち労働生産性向上と人手不足解消にも繋がります。

本日は、限られた時間の中ではございますが、全国の労研からいろいろな活動報告がございまして、課題の解決、会員相互の資質の向上に役立てたいと考えています。

はなはだ簡単ではございますが、開式の挨拶とさせていただきます。